

7. 所信

副会長 候補者 神崎 寛子

この度 副会長に立候補させていただきます。

会員の皆様のおかげで今季、県医師会をつつがなく運営することができました。感謝申し上げます。

かかりつけ医機能の確保、在宅医療の強化、介護との連携強化が、将来の医療体制の確保には必要と言われていています。2040 年に向けて新たな地域医療構想等に関する検討委員会が設置されました。地域ごとに必要な医療体制が異なるであろうことは認識されていますが、何をどうすればよいのか国も模索を始めたばかりのようです。国の動きを見つつ、準備に協力していきたいと思います。

次は災害医療に対する備えです。次に到来するパンデミックに対し、県全体の感染症に対する備えを構築していかなければなりません。新型コロナウイルス感染症下で作られたネットワークの保持、不足していた部分の構築とやっておかなければならないことは山積みです。問題点の洗い出し、解決方法の模索、そしてシステムの開発の過程の中で県医師会ができることをしていきたいと思います。また、今回の能登半島地震に対する医療支援では真備の水害の際の経験とともに、ロジスティックの大切さを痛感いたしました。支援の上げをしてくださる先生のご厚意を無駄にしないためにも、県医師会も受援体制を構築していく中で十分な働きができるよう日頃から体制を整えていきたいと考えています。

最後に理事就任以来、かかわってきた福祉部ですが、保険に対する世の中の考え方の変化により、福祉部の仕事も変わっていかざるを得ない状況に来ていると思います。会員の先生方に不利益にならないような道を考えていきます。

会員の先生方のお声が届く県医師会でありたいと思います。努力してまいりますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。